

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	英語英文学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	仁川大学 (韓国)		
所属プログラム・ 学部・研究科	英語英文学科		
報告書提出日	2019年9月30日		
留学予定期間	2019年8月～2019年12月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舍デポジット： 760000 (ウォン) /合計

航空券代： 69130 (円) /合計

ビザ申請関連費： 0 (円) /合計

その他 (): 0 (円) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

6月ごろ仁川大学から受け入れ許可書、寮について説明された用紙などが届きました。寮は大学内にある寮2つと学外の1つの寮の中から選ぶことができます。4人部屋の寮、2人部屋の寮などがあり、それぞれ家賃も異なります。

7月下旬に航空券予約、ビザ申請等を行いました。ビザの申請は、住民票が宮城県にあるので、神奈川県ではできず、宮城にいる両親に頼むことになり、少し時間がかかりました。

8月上旬、ビザが届いたのち、保険の申請をしました。

1.2. 渡航について

地元宮城県で両親の送迎で仙台空港に向かい、飛行機に搭乗しました。実家から空港までは1時間半ほどかかるので、搭乗の二時間前には空港に着くように家を出発しました。また、飛行機は、事前にインターネットで座席指定をしていました。飛行機で、1時間半ほどで韓国に到着しました。空港にはバディが迎えに来てくださり、リムジンバスとタクシーで寮に向かいました。

リムジンバスは大きな荷物が積める700円ほどのバスです。リムジンバスで30分ほどでロッテマートにつき、布団など必要なものを購入し、ロッテマートからタクシーに乗りました。寮まではタクシーで10分くらいでした。韓国のタクシーは日本よりも安く、初乗り400円ほどです。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

寮についてすぐ手続きがあり、英語で書類を記入しました。指紋認証の登録を行い、部屋のキーを渡されます。部屋の鍵はカードキーです。寮費は、4か月分の76000円を9月の月上旬に学内の銀行で振り込みます。韓国語で記入するため、バディと行くのが良いと思います。私は、バディと予定が合わず、日本人のルームメイトと行きましたが、銀行の方が手伝ってくださり、手続きできました。

部屋には机と椅子、クローゼット、エアコン、トイレ、シャワー、洗面台がありました。トイレとシャワーは別です。日本のように湯船はありません。ベッドはマットレスがあるので、シーツ、枕、毛布、布団を買う必要があります。寮の近くにあるロッテマートで買うことができます。私の場合は、空港から大学にむかう途中にバディがロッテマートで買い物する時間を作ってくれたので、布団や、枕を購入しました。掃除用具などは貸し出しがあります。また、各階にウォーターサーバーがあります。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

外国人登録書の手続きは、9月10日にありました。また、同日に、保険証書のコピー、パスポートも提出します。保険についての資料を英語で記入しますが、記入の手助けをしてくれる方がいるのでわからないことは尋ねることができます。その書類に貼り付けるパスポートサイズの証明写真が必要になるので、日本で撮影して持っていくと便利だと思います。11月ごろ外国人登録書が届くとのことでした。提出したパスポートは後日の健康診断の際に返されます。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

9月2日に1時間半ほどのオリエンテーションが行われました。学校の紹介、これからのスケジュールについての説明が英語でなされます。

9月3日から9日の間に寮費を学内の銀行で支払います。

9月4日にプレイスメントテストがありました。筆記と面接が行われます。

9月10日に外国人登録書のための資料提出、保険証書のコピーの提出を行います。

9月17日健康診断を行います。内容は日本のものと大体同じです。

学生登録は、留学前に学籍番号や、学内アプリに入る際のパスワードなどがメールで送られてきます。留学後は特に手続きなどはありません。

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

英語の能力はTOEIC700点以上、韓国語はハングル検定準2級、TOPIK4級を取ることができるとなりたいです。授業で英語を使う機会が多いので、語彙力などあげたいです。韓国人と会話する機会も頻繁に持ち、韓国人と交流できる学内行事など積極的に参加したいです。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

授業をほとんど英語で聞いており、他の留学生と英語でコミュニケーションを取ることあるため、英語は留学前より活用できていると思います。予習で学術的な文章を英語で読むこともあるので、非常に勉強になります。韓国語の授業以外にも学内で開講される留学生のための韓国語の授業にも参

加しています。机に向かう勉強はもちろんですが、もっと積極的に他の留学生や韓国人学生とコミュニケーションをとりたいです。

3.3. 今月の学習・研修目標

留学に来ているため、アウトプットも大事にしたいと思います。

しかし、韓国語は単語帳の半分を完璧にしたいです。英語も予習復習を怠らず、1日1時間は英語の文章を読むようにしたいです。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	後	学期
月	英語音声学	
火	英会話、英作文	
水	韓国語読解作文、英語音声学	
木	韓国文化のニューウェーブ、英作文	
金	英会話、韓国語読解作文	
土		
日		

4.2. 授業について

英語音声学については、三週間で、教科書 10 ページ分のチャプターが終了するほどの速さです。内容は非常に難しいですが、分からない箇所は教授や、他の留学生に尋ね、教えてもらっています。毎週宿題が出ます。

英会話は主にペアワークでディスカッションをします。トピックが科学についてであったり、難しいこともあります。毎週宿題が出ます。

英作文は授業中に英作をするのではなく、文章を書く際の構造などについて学びます。毎週ではありませんがエッセイの課題が出されます。

韓国語読解作文では、他国からの留学生とともに、韓国語を学びます。私が選択した授業は進度が速くはなく、英語や韓国語で授業が進められます。毎週ではありませんが、課題があります。

韓国文化のニューウェーブの授業では、韓国の歴史的な事件や、教育制度などの韓国の文化について英語で学びます。基礎知識がないと理解が難しいことがあります。分からなかった部分や、興味が湧いた部分について帰寮してから調べることで理解と、韓国文化への興味が深まります。

4.3. 予習・復習・自習について

英語音声学は予習をしなければ授業についていくのが難しいです。小テストもあるので、復習も欠かせません。

英会話は、授業の予習になるような課題がだされます。課題で作成したものなどをもとに授業が進行するため、非常に重要です。

英作文は、授業の始まりに前の時間に学んだことをペアで確認するため、前回の内容の復習が重要です。韓国語読解作文では、課題とともに、復習が重要です。教科書内で、前回習った単語などがその後も継

続して出てくるため、復習を怠ると、その後の内容読解がスムーズにできなくなります。
韓国文化のニューウェーブは、難しい内容を扱うこともあるため、基礎知識が必要です。予習と復習が
欠かせません。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
<p>韓国で SIM フリーにして携帯を使用する場合は日本でシムロックを解除する必要があります。調べ不足でシムロックを解除しておらず、韓国で 4000 円ほどの、中古の携帯を購入しました。携帯の契約は、学内の携帯会社で行いました。ソウルには、日本人の職員がいる携帯会社もあると聞きました。</p> <p>寮の部屋では、wi-fi が飛んでいます。</p> <p>学内には、学食の他にハンバーガー屋さんや、お弁当屋さん、カフェなどがたくさんあります。コンビニも学内と寮内にあります。</p>	

5.2. 課外活動について

<p>学内にある ISSC という留学生と交流する団体が、ウェルカムパーティーや、仁川のシティツアー、ハロウィンパーティーを開催しています。ウェルカムパーティーに申し込みに行った際、開催が告知された次の日にも関わらず、参加人数が定員に達し、参加できませんでした。しかし、シティツアーに参加し、韓国人学生や、他の留学生と交流することができました。また、学外にある留学生に韓国人が韓国語を教えてくれたり、韓国の文化を体験できるサークルに週末は参加しています。</p>

5.3. 現在までの感想

<p>予習復習で、あまり TOEIC や、TOPIK に向けた勉強ができていないことが悩みです。私は英語の授業を多く取るため、韓国語の授業を 1 つしか取れませんでした。留学生のために無料で開講される韓国語の授業がいくつかあり、夜に開講されるため、普段自分が取っている授業と時間が重なることなく受講することができます。</p>

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（11月）

所属	外国語学部	英語英文学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	仁川大学 (韓国)		
所属プログラム・ 学部・研究科	英語英文学科		
報告書提出日	2019年 11月 6日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

韓国への留学を通して日韓関係における韓国からの日本に対する考えを知ることが1つ目の目標です。また、韓国語能力、英語能力の向上を目標としており、具体的には、TOPIK 4級、TOEIC800点の実力をつけたいと考えています。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

先月は中間考査がありましたが、意欲的に取り組めたと思っています。図書館や自習室などの施設を利用し勉強しました。英語会話の授業ではパートナーと英語で会話をして評価を受けますが、韓国人のパートナーの方と韓国語で相談しながら英語の対話練習をすることができました。また、考査の代わりに自国の文化について発表する授業がありました。その際にはウズベキスタン人の友人とグループになり、ウズベキスタン、日本、韓国の文化を比較し発表しました。韓国語は、語彙力を増やしたいです。また、読み書きの能力不足が顕著に表れているので、読み書きの自主学習を怠らないようにしたいです。英語も語彙力が足りないなので、TOEIC 勉強などを通して語彙力をつけたいです。また、英語は、授業とは別に神奈川大学の English express に似た施設にも定期的に通い、会話力を身につけています。

1.3. 今月の学習・研修目標

本格的に TOEIC と TOPIK の勉強を始めたいです。授業の予習復習に加えて、TOEIC と TOPIK の勉強をそれぞれ一時間以上はしたいと考えています。韓国で参考書を購入したため、帰国までには網羅したいと考えています。また、期末考査は、テストではなく、レポートや発表が課される授業も多いため早めに準備を始めて、完成度を高めたいと考えています。

2. 学修について

2.1. 授業について

英語音声学は、全て英語で説明がなされ、時々韓国語で補足説明があります。授業では、発音とアクセントの規則性などを学びました。コンピューター室で音声学ファイルを使い、自分の発音を分析する授業があります。他の学生は前期から音声学を履修している学生もいるため、音声学ファイルに慣れている学生もいますが、私は使い方がわかりませんでした。しかし、隣の席の学生や、先生が手伝ってくださり、課題をこなすことができました。週に一回課題が出ます。

英語会話は、主にペアワークで科学やボランティアなどについて話し合い、意見交換をします。課題は頻繁には出ません。

英作文は、パラグラフやエッセイの書き方を学びます。毎授業前回のフィードバックから始まります。パートナーとクイズなどを通して文章の構造を勉強します。文章を書く課題が時々出ます。

韓国文化のニューウェーブの授業では、先生が韓国の文化について動画やパワーポイントを使ってレクチャーしてくれます。課題は出ません。

韓国語読解作文では、授業申請、図書館で使う単語を学びました。同時に文法も学習しています。授業の中で、教科書の中の問題を解き、添削してもらいます。

2.2. 予習・復習・自習について

英語音声学は新しい章に入る際に教科書の予習が課題になります。覚えることが多いため、復習や、テストの前の事前準備が重要です。また、授業では専門用語が多く出てきて理解が難しいこともあるため、予習の段階で調べて知っておく必要があります。授業でわからないことがあった際は、授業後に先生に尋ねます。

英語会話では、TED の動画を見る予習課題が課されることがあります。テストの際には授業中に話し合った内容の対話を評価されるため、復習で授業中に話し合った内容をまとめておく役に立ちます。

英作文では、毎授業前回の内容についてパートナーと話し合うことから始まるため。授業の内容の復習が重要です。

韓国語読解作文では習った単語が教科書内で次々と活用されていくため、前回習った単語の意味がわからなければ今回の文章を訳すことができないといったことが起こり得るので、復習が重要です。

2.3. 語学力について

韓国語で韓国人の友人や先生とコミュニケーションを取っています。韓国語で会話することで語彙力はまだ十分ではありませんが向上しています。韓国語の読解に関しては速度を上げて読めるようになりました。筆記能力は、知っている単語を書き文章を作ることはできますが、時々パッチムなどのミスがあり、筆記能力をさらに向上させたいと考えています。

英語に関しては、神奈川大学にある **English express** のような場所に行き、英会話や英語でゲームを行っています。また、ほとんどの授業を英語で受講しており、英語の専門用語も身に付きました。現在英文法の授業を受講していないため、文法については **TOEIC** の勉強を通して自主学習したいと考えています。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
<p>寮では、無料で wi-fi を使用できますが、部屋の wi-fi が突然使用できなくなりました。このように部屋で不備があった際は、仁川大学のポータルから、寮の不備を報告すると数日後に修理してもらえます。その際部屋にいる必要はありません。</p> <p>また、寮には予約して使用できるセミナー室があります。私は授業でグループ発表をする際セミナー室同じグループの友人に予約してもらい、発表のための話し合いをしました。テスト期間に予約し、友人と一緒に勉強することも可能です。セミナー室や自習室がある 2 階でも wi-fi の使用が可能です。</p> <p>15 号館には英語英文学科専用の自習室があります。9 時から 5 時半まで使用可能です。図書室は、普段は夜 9 時まで、テスト期間は 10 時まで使用できます。</p>	

3.2. 課外活動について

<p>休日は韓国人と積極的に交流するようにしています。学外にある外国人に韓国語を教える団体の活動に参加し、韓国語を学習したり、ハロウィンの際にはパーティーをしました。日語日文学科の活動にも参加し、先月には運動会をしました。多くの競技に出場して今まで話したことのなかった韓国人とも仲良くなりました。運動会の後にはみんなでサムギョプサルを食べました。私は英語英文学科に所属しているため日語日文学科の学生とはあまり交流がありませんでしたが、交流を深め、こちらが日本語を教え、私も韓国語の方言などを教えてもらいました。</p>

3.3. 現在までの感想

<p>勉強面では韓国語を話す機会が多く韓国語の会話力は伸びていると感じます。しかし、文法などで曖昧な部分があるので、正しい文法を使って話せるようにしたいです。中間テストの勉強に追われ、韓国語と英語の自主学習がおろそかになっていたため、また再開して力をつけたいです。</p> <p>韓国人の友達が多くでき、ご飯や出かける際に誘ってもらえることが増えました。4ヶ月の留学で交流を深めることができるのか不安でしたが分からないことを尋ねたり相談できる韓国人の友人ができて安心しました。</p>
--

以上

神奈川県立大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学 科	英語英文学科	2 年次
派遣先大学 (国)	仁川大学 (大韓民国)			
所属プログラム・ 学部・研究科	英語英文学科	履修言語	英語	
留学期間	2019年8月～2019年12月			
報告書提出日	2020年1月10日			

1. 学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
2 学期	9月5日 ～12月21日 (16週)	12月9日 ～12月16日	韓国に渡航する前にバディの方と連絡をとり、授業登録をしてもらいました。韓国渡航後、授業を受け、移行期間に履修をまた組み直しました。

1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間 (内訳)	履修内容・授業での取り組み
2 学期	英語音声学	48 時間 1.5(時間/回) × 2 (回/週) × 16 (週)	講義は月曜日と水曜日に 90 分ずつありました。内容は、母音と子音の発音のされ方、英文を読む際のアクセントの付け方などを学びました。演習は、自分で英文を読み、録音し、その音声を praat という音声分析ファイルでみたり、自分が母音を発音する際どれほど母音ごとに区別して発音できているかチャートを作ったりしました。中間試験、期末試験の勉強としては、授業で使用したプリントのまとめ、復習をしました。学期末には、発表課題とレポート 10 枚の課題があり、私は日本人がうまく発音できない英語を題材として、なぜ正しく発音できないのかを日本語と英語を話す際の舌遣いや空気の使用具合の違いに着目し、発表を行いました。また、 praat を用いて日本人と英語のネイティブの発音の違いを明らかにしました。

2 学期	英語会話	25 時間	<p>講義は火曜日に 60 分ずつありました。内容は教科書にある題材から、ロボットについてや、ビジネスについて、環境保護についてなどパートナーと意見交換をする授業でした。演習は、グループになり、ターゲットや目的を定めて韓国を特定の世代に案内するプランを立てるということを行いました。中間試験、期末試験は授業内で取り扱った課題からパートナーと会話をし、教授が評価するという内容でした。事前準備としては、パートナーの方とそれぞれのトピックについて意見交換し、会話練習を行いました。期末テストの前には、パラドックスを題材としてパートナーと発表がありました。私たちは、優れた大学に入学するにはお金が必要だが、その大金を稼ぐには優れた大学を卒業していい企業に勤める必要があるというパラドックスを題材にしました。</p>
		50(分/回) × 2 (回/週) × 15 (週)	
2 学期	英作文	25 時間	<p>講義は火曜日に 60 分ずつありました。内容はパラグラフやエッセーの構成についてでした。教科書にあるパラグラフやエッセー構成内容に関する問題についてパートナーと話し合い、どのように文を構成するのが正しいのか理解を深めました。演習では教科書中の問題を解きました。中間試験、期末試験は二日間にわたって行われ、1 日目でトピックを 1 つ選び、ブレインストームとアウトラインを書き、2 日目でパラグラフやエッセーを完成させるという内容でした。定期的にパラグラフやエッセーの課題が出ました。テストに向けた準備としては、教授が作成し授業で活用した PPT の確認、ノートの振り返りなどです。</p>
		50(分/回) ×2 (回/週) × 15 (週)	
2 学期	韓国語読解作文	50 時間	<p>講義は教科書の内容に添い、韓国の大学で新入生歓迎の際や、授業登録、MT といった行事で使われる韓国語の語彙などを習いました。また、図書館で使われる語彙なども習い、実際に図書館へ行き、仁川大学の図書館設備や本の借り方返し方などを実際に体験しました。中間テストはペーパーテストがあり、学習した語彙の確認、論述などがありました。学期末にテストはなく、故郷の天気、名所、食べ物などを紹介する発表の課題がありました。また、中間も期末もレポートの課題がありました。中間は仁川大学に留学している他の大学生にインタビューし、韓国語でレポートを書く課題、期末は読書感想文を韓国語で書く課題が出ました。</p>
		100(分/回) ×2 (回/週) × 15 (週)	
2 学期	韓国文化のニューウェーブ	45 時間	<p>講義に教科書はなく、教授が作った PPT を元に韓国のスクリーンショットシステムについて、教育制度について、美容整形についてなど学習しました。また、それぞれの单元ごとに関連した映画を見て理解を深めました。中間テストはなく、</p>
		3 (時間/回) ×1 (回/週)	

		× 15 (週)	<p>自国の文化を発表する課題がありました。期末テストでは学習したことに関する自分の意見を英語で論じる課題が出ました。期末テストは事前に問題が教えられ、自分の意見をまとめ、提出する方式で、または教室に行き、その場で自分の意見を書き提出することも可能でした。その際は持ち込み可能でした。</p>
--	--	----------	--

1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

教科書がある教科の中には予習課題が出る教科がありました。それらの予習課題はこなし、その際に学問的で難しい単語の意味などを調べ理解していくようにしていました。具体的な内容としては、教科書を読み、ノートにまとめたりしました。復習の際には、教科書の練習問題を解いたり、教授が作成したPPTをみたり、課題をこなし復習しました。個人的には英語音声学の内容が一番難しかったのですが、授業中に理解できなかったところは授業中にノートに書き留めて、友人や先生に聞くようにしました。また、実際に発音するなど書かだけの勉強だけではなく、実践して内容を理解するようにしました

1.4. 語学力について

渡航前の語学力は、英語も韓国語も語彙力が不足していました。英語は簡単な読み書き会話リスニングができる程度で、韓国語も同様ですが、筆記が苦手でした。留学中に、まず英語は授業の際に使用する英単語を確実に覚えるようにし、専門的な単語も習得することができました。英会話の授業を通しては難しい題材について英語で会話することでスピーキング能力が向上したと思います。英作文の授業では正しいエッセーの構成方法を学び、最終的には与えられた題材について1時間でブレインストーミングとアウトラインを書き、1時間で5パラグラフのエッセーを書き上げられるようになりました。教科書の読解を通して英語の読解能力も伸びたと感じています。韓国語は韓国語の読解作文の授業を通して学校生活に必要な韓国語の単語を知ることができました。さらに授業で韓国語の長文を読解し、レポートも書くことで読み書き能力が向上したと思います。また、会話の際の文法や、発表の際に使用される文法も学習しました。仁川大学には普段の韓国語の授業とは異なり、夜間の韓国語の授業もあったので会話やTOPIKに向けた対策授業により、韓国語能力を伸ばすことができました。

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果

学修面では、授業によって得られた学問的な知識と語学力向上の成果が得られてと思います。授業で得られた知識について、英語音声学では、アルファベットの調音位置や、調音方法などを習得しました。そして、**praat** という音声分析ファイルを活用し、音を分析したり、**praat** の表を見れば摩擦音なのか閉鎖音なのかわかるようになりました。また、英語で日本人が発音しづらい英語について発表し、レポートにもまとめることができました。英作文の授業では、英文構成に関する知識が豊富になり、重ねてエッセーを書く練習をすることで書きの能力が向上したと思います。英会話の授業では難しい題材についても自分の意見を英語で述べられるようになりました。韓国語の授業を通しては、自分の語彙力を補えたと思います。韓国文化のニューウェーブという授業では韓国の教育制度や、映画界について、美容整形についてなど深く学ぶことができました。さらに、他国から来た留学生からその国の文化についても聞くことができました。語学力については、授業に加えて、韓国人学生と会話をしたり、連絡を取ることによっても向上したと思います。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

語学については韓国語があまり話せなくても韓国人の学生は英語が得意な人が多いので大丈夫だと思います。また、仁川大学では交換留学の留学生のためにレベル別で韓国語の授業があるので韓国語の心配はしなくても大丈夫だと思います。しかし、寮の手続きなど基本的に英語でコミュニケーションを取る場面があります。また、私は英語英文学科だったということもあり、英語のみで開講される授業が多くありました。韓国人の学生は英語の能力が高く、**TOEIC** が 800 点を超えている人が多く、それが卒業条件にもなっています。私は自分の英語能力が低いことを韓国に渡航したのちに実感しました。韓国語の意味がわからない際に友達が英語で意味を教えてくださいますが、その意味もわからず恥ずかしい思いをしたので、英語能力は十分に向上させてから行くことをお勧めします。授業の内容は難しい場合もありますが、聞くうちに慣れて理解が深まります。しかし、そのためには予習復習をしっかりすること、わからないことをわからないままにしないことが大切です。

2.3. 留学生活で得られたもの

留学生活で、得られたことの1つには積極性があります。韓国人の学生や他国からの留学生は授業中積極的に発言し、質問する姿勢が見られました。最初は間違えを恐れたり、質問する前にあれこれ考えてしまうことが多くありましたが、最終的には積極的な姿勢を身につけられたと思います。また、4ヶ月という短い留学生生活を充実させるために多くの行事やサークル活動に参加し、積極的に活動できたと思います。さらに寮での生活や、授業やサークルのグループ活動を通して協調性を身につけることができました。寮では日本人のルームメイト1人と共同で生活しました。日本でも寮生活の経験はありましたが、ルームメイトがいるという経験は初めてだったので、互いを理解し、配慮し、成長できる良い経験だったと思います。

2.4. 留學生活での反省点ならびに留學志望者へ生活面のアドバイス

家事について

留學生活では自分の身の周りのことは自分でこなさなくてはなりません。留學を始めて急に家事をやるのは大変だと思うし、それ以外にもやることが多く余裕がなくなり、ホームシックの原因にもなりうると思うので、実家で生活している方も少しずつ自分の身の回りのことを自分でやるようにして準備すると、留學を始めてから少しでも気持ちの余裕ができると思います。

持ち物について

私は渡航してすぐに現地で買い物できるか不安で生活用品を日本から一定量持っていき、荷物が非常に多くなりました。しかし、到着後、バディが迎えに来てくれて、一緒にメートに買い物に行ってくれました。従って、生活用品や寝具などは持っていかなくて良いと思います。しかし、ハンガーを持っていき、服の収納や、洗濯の際にとっても役に立ったのでハンガーはいくつか持っていくことをお勧めします。化粧室が部屋に1つしかなく、ルームメイトと準備の時間が重なると同時に身支度ができないので鏡も持っていくと便利だと思います。さらに、私は夏服を多く持っていきましたが、現地で買い足すこともできるし、帰国の際荷物が多くて困ったので、夏服を多く持っていく必要はないと思います。

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2020年1月8日

所 属	外国語学部	英語英文学科	2 年次
派遣先大学	仁川大学		4 ヶ月間

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	住居形態の詳細	日本人ルームメイトと2人部屋
3	入居時手続き	事前に日本で申し込み、韓国で口座を作り寮費入金
4	費用 (月額)	76000 (19000) (食費 食費含まない/月)
5	支払方法	韓国で口座を開設し一度に全額入金
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(個別) <input type="checkbox"/> シャワー(共同) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (コンビニ)
7	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ()
8	周囲環境	バスで3分でマートがあります。
9	アクセス	大学内にあります。大学の門を出てすぐにバス停があり、バスで3分ほどで地下鉄の駅があります。
10	留学中の住居に関して アドバイス	風呂の排水溝が詰まりやすいので定期的に網をとって掃除した方が 良い。

II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	プリペイド式
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	学内の携帯会社で中古携帯を購入
4	自宅のインターネット接続環境	無線 (大学または寮へのLAN接続)
5	大学内インターネット接続環境	無線 (大学または寮へのLAN接続)

III. 留学費用について

諸経費 (1ヶ月の平均)		
1	宿舍費	190000 (ウォン) /月
2	食費	258000 (ウォン) /月
3	交通費	20000 (ウォン) /月
4	通信費	16000 (ウォン) /月
5	娯楽費	50000 (ウォン) /月
6	図書費	10000 (ウォン) /合計
7	学用品 (教科書など)	20000 (ウォン) /合計

8	被服費	30000 (ウォン) /合計
9	医療費	0 (ウォン) /合計
10	雑費・その他	10000 (ウォン) /合計
上記以外にかかった大きな金額の内訳 (留学準備期間含む)		
11	出願料・宿舍デポジット	0 (ウォン) /合計
12	ビザ申請関連費	77000 (ウォン) /合計
13	航空券代 (休暇時旅行費用は除く)	710000 (ウォン) /往復
14	その他	0 (ウォン) /合計
15	留学全日程に要した総額 (概算)	2400000 (ウォン) /合計
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 (渡航時: 50000 円) <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード (銀行名: 七十七銀行) <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> その他 ()	
17	現地で銀行口座開設	開設した
18	手続き方法・利点・欠点	学内銀行で開設。銀行に日本語を話せる方がいないので開設が大変だが、現金が学内で引き落とせるので楽。
19	お金に関するアドバイス	韓国はカード社会なのでキャッシュカードがあった方が良いが、現金も少しは常に持ち歩いた方がよい。また、キャッシュカードが使えない時のためにもう一枚クレジットカードを持っていった。

IV. 保険・医療について

1	海外旅行 (留学) 保険の種類	東京海上日動保険 (4 か月分)
2	日本から持参した方が良かったと思う薬などはありますか? 理由はなんですか?	風邪薬。韓国は日本よりも寒く、風邪をひくこともあるが、韓国の薬は日本よりも薬効が強いと聞いたため。

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの	タオル、夏服、シーツ、リュック、化粧品、薬、生理用品
2	現地で購入したもの	枕、布団、冬服
3	(自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だと思ったもの	インスタントの味噌汁やスープ

VI. 留学先で困ったこと

授業申請や、教科書購入。風呂の水の流れが悪くなったこと。

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

たいてい現地に到着してすぐに、パディがマートに日用品の買い物に連れて行ってくれるので、シーツなどを持っていく必要はありません。携帯は日本で SIM フリーにしておいて韓国で SIM カードを購入することをお勧めします。